

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
事業名	945	防災基盤整備事業	01	01	一般会計
基本施策	16	火災を防ぎ、市民の命を救う	09	09	消防費
			01	01	消防費
			03	03	消防施設費
担当部課名		消防救急課	101	101	消防施設整備事業
作成者氏名	豆本 弘文	連絡先	02	02	防災基盤整備事業
		24-9102			

事業の計画・内容

整備目的	1 消防団ポンプ等の整備 老朽ポンプの更新により消防力の充実に図り、安心して生活ができる。 小型動力ポンプ積載車の整備により、消防活動における機動力の増強を図る。	整備内容	1 整備面積等	
	2 耐震性防火水槽の整備 耐震性防火水槽の整備により、火災・災害時の水利の確保、生活用水の確保と備えをすることで、安心して生活ができる。		2 規模・構造	小型動力ポンプの更新(B3級) 7台 軽四輪小型動力ポンプ積載車の新規配備 5台 耐震性防火水槽の整備 8基
	3 総事業費(千円)		75,176	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
	事業費(B)	75,176	63,217	82,360
支出内訳(千円)	工事請負費	50,834	46,400	78,000
	備品購入費	24,182	16,223	4,200
	その他	160	594	160
	合計(A+B)	78,776	66,817	85,960
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	2,500	2,500	2,500
	地方債	72,300	60,100	60,300
	受益者負担 その他特財			
一般財源	3,976	4,217	23,160	
上記 ~ に関する特記事項				

根拠法令・要綱等	消防組織法・消防力の整備指針・消防水利の基準
関連事業	市単ポンプ庫整備事業

事業年度					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度

区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
小型動力ポンプの更	13	7	4	3	15
軽四輪小型動力ポン	7	5	8	8	5
耐震性防火水槽	10	8	8	8	8
進捗率					

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標	
		平成	18年度
小型動力ポンプの更新	老朽ポンプの更新数を指標としました。		7台
耐震性防火水槽の新設	消防水利の充足率:「消防水利の基準」に基づく基準数に対する現有数の割合を指標を指標としました。 18年4月消防施設整備計画の見直しにより次のようになっています。 現有数2420÷基準数3437×100=充足率70.4	22年	73.0

事業開始時からの状況変化等

1 消防団ポンプ等の整備 従来からの老朽ポンプの更新に加えて、軽四輪小型動力ポンプ積載車の新規配備により、消防力の維持及び機動力の増強をはかっています。
2 耐震性防火水槽の新設 合併により整備指針の見直しを行い、水利の不足している地域に年次計画により耐震性防火水槽を整備し、火災及び震災時の水利の確保をしている。

評価	必要性	4	プレート境界型地震の発生が危惧される中、市町村の消防責任遂行に必需不可欠な事業で、消防力の充実及び消防水利の増強が望まれていることから、合併による不均衡の是正を考慮して、消防施設整備計画に基づき継続して実施する。	総合評価	A
	有効性	4			
	達成度	4			
	効率性	4			